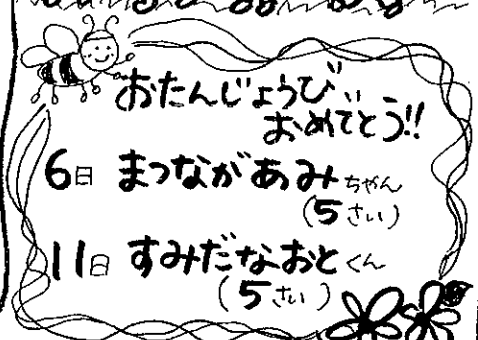
こびとのおうちえん Letter

令和7(2025)年5月9日発行　第166号

5月号

たけのこほり。今年は、何回も行ってる子多かった。今シーズン18回。スタッフの配置等で行けなかった日、(けいご)は、ふりかえりのミーティングで、「たけのこに行けなくて悲しかった」と言った。次の日、思いきりやれるように、と、(けいご)(ゆずき)(まひと)と行った。ガッツリやろう！山の中もどんどん入ってこう。私もこのメンバーとやるのは、初。いや～、おどろいた。さがすのも、まるのも、全くお手伝いがいらない。ていねいにほるから、ちゃんと下のとこまでほれてる。(赤いブツブツのとこ)もう、次々とさがして歩く。(まひと)は、キクラゲの生えてる木も見つけた。帰り道、青貝子いっぱいで、私は立ち上がれなかった。みんなが、たけのこを分けてもってくれた。



=4月はこんなことしました=

- オタマジャクシの池へさんぽ
- 日向平さんぽ(こいのぼりみにいく)
- たけのこほり
- たけのこの皮むき、ゆで作業
- タラの芽とり
- キクラゲ、キノコ(アさがカダケ)さがし
- 藤ケ浦であそぶ
- 「ミントのフネ」を庭探しにいく(伊保庄)
- こいのぼりを出す
- 川であそぶ
- おままごと
- ちょうちょ、トンボとり
- でざるまさんがころんだ
- 新笠若寺へいく
- 山の太陽であそぶ
- おにわで穴ほり、水あそび
- ねっちゃん、うさぎちゃんごっこ(5/1)
- 木工作
- 紙工作 - おりがみ
- オタマジャクシ、いもり、カエルとり
- おえかき
- 山のすべり台にいく
- えのぐでおえかき
- けいどろ
- 土はこび　etc…
- わらびとり

おたんじょうび おめでとう!!

6日 まつながあみちゃん(5さい)

11日 すみだなおとくん(5さい)

5月のスタッフプラン

- のいちごつみ
- マテ貝ほり 5/12(月)

※詳しくはメールでおしらせしますね！

30日(金) おべんとうの日

※おべんとうの準備をおねがいします

おむすびの日

5/13(火)、20(火)、27(火)

※おむすびの準備おねがいします!!

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

5月のペアレンツグループ

子育ては自分育て。今、どんな「私」でいますか？「話す」こと、「聴く」ことで、ふとした気づきが生まれたり、すこし楽になったり。問題解決や悩みの除去にとらわれず丁寧に自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらと思います。聴き合うグループを軸に、時には、体験学習を交じえながら月1回行っています。参加お待ちしてます。

5/23(金) 13:00～15:00

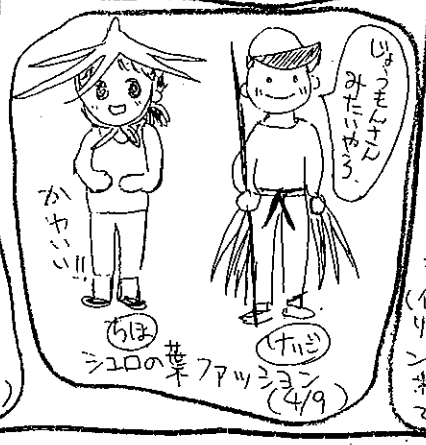
場所　もみじのいえ

内容　フィーリンググループ

―自分の気持ちを味わう時間、メンバーの主もちを聴き合う時間―

※参加される方は、事前にご連絡下さい。当日の朝でもOKです。

川で上半身はだかになってもくもくと2人であそぶ(さゆき)、(ちほ)。みたら、歌いたくなった私。「こころ、はれば れー、きもちはれば れ～ くも、ひとつない、あおいそーら～」と歌う。そしたら(さゆき)が、「よっこ、空みて！くもひとつない。」って。上をみたら、ホントだ。なんだか心がじんとした。そして、スカッとした。(4/8)



1ケ月をふりかえる。

4月は、新しいメンバーでの出発で、毎年毎年最初の1ケ月を終えると、1回そこで立ち止まる。毎日は充実しているのはる程かだけど、気もはっているし、ヘトヘトだ。今では、小さい人たちも慣れてきて、今までいた子たちも、とまどいを過ぎて、新しいステージへとむかいはじめている。そうして、どの子もたくましくなっていく。

年少さんとの関係づくりやお世話に手がかかっていても、年長・年中のメンバーのことを後回しになんては思わない。でも、応えられない時も多々あったと思う。だから、あえてのガッツリ！の時間をとれるように工夫もした。そうすると、年長・中のメンバーの躍動が改めて感じられて、熱中したり、はっちゃけたり、を共にすることで、私自身も、「今」の彼らの喜びの中に存在できる実感があった。

うれしいなあと感じるのは、こどもたちがはじけているときだ。全身で「きもちいいー」も「いやだー」も。今まで言いにくかったことを言ってみようと、自分の気もちのままにやりたいことをやろうと動き出した(いちか)がいる。今、ずいぶん近くに感じる。

こどもたちの明るい部分ばかりに焦点を当てると見えなくなることがあることも知ってる。こどもたちが、私には見せない部分もたくさんある。

人とよりよい関係になるとしたら？　やっぱり自分が変わるしかない。私が日々とりくみたいのは、否定的な伝え方をしないこと。感情的にならないこと。まかせること。口を出すのを少し待ってみること。それってどっちでもいいんじゃないか？とおもうこと。(自分のやり方や好みにとらわれない)

まあ、なかなかむずかしいのだけど。それでも手応えのある方へ進む。積み重ねてきたものに頼りすぎず。でも、自分の直感や育ててきた前より軽やかな今の自分も大事にする。

宮野 嘉子

よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～

朝のおはなしタイム。

(ゆずき)「どうろ走ってたらキツネがしんでた。」

(みなと)「おそらいったのかなあ」

「ペンギンは？もうおそらいった？」

(らら)「ペンギンはおそらとばないよ。」(4/10)

日向平に行く道中、あるきながら、

(よっこ)「今日はこいのぼりみにいこかー」

(みなと)「こいのぼり、くくにもってかえる」

(よっこ)「もってかえりたいのかー、じゃあ、かえってきてつくろうか」

(みなと)「こいのぼり、おいしいかなあ」

(よっこ)「…。」(4/30)

今日は、全員で般若寺へと出発したのだけど、昨日も船の原っぱまで行ってるし、「さんぽ」もたくない。ヤギさんのとこいって工サあげたかった。」と(まひろ)は泣き、(みなと)は「歩きたくない」と泣いてるし、なので、私は、今日は年少の3人を無理させずに、また他のメンバーが小さい子に合わせず、自由に歩いてほしいので、途中で、ちゃーちゃんやあっきーにわかれようと言った。どんどん行っておいでー！！年少3人は、もうここらへんでゆっくりしたらいいや。(らら)は、オドリコソウをとってはみつをすっている。私は、かえったらヤギさんに工サあげようねと言って袋を出してそこらへんの草をあつめる。(みなと)が「エン、これすき？」と草をとりながら入れてる。「すもかねえ、あげてみようね」(まひろ)も入れたりしてる。そのうち(まひろ)が「みんないなくなったね。」「あっちいってみよー」と言う。(みなと)と(らら)も「いこうー！」となる。ガリヨシのところに着いたら、岩にのったりしてあそぶ。ここからは少し下っているので、「あっちだー」とまた走ってく。きのうと同じように道のかべからかべへ走っていったりきたりのぼったりおりたりして、キャッキャッ。まだ道えんや。そして、きのうたけのこをほったところでおいついた。あっきーが手をひろげて「ゴール!!」と3人ともかけぬけた。

ふしぎなもんだ。こっちのペースに合わせようとするとうまくいかなくても、それをやめてこの子たちにまかせたらこうなるんだもんな。ここで3人と(ちほ)(体調不良になって帰ることになった)は折り返した。

帰り道もたのしんでかえった。おにわについたら、エンに工サをあげ、(みなと)と(まひろ)はおままごと。(らら)は、木工。くぎでうってイモ80ぴくりしてすごす。とってもおだやかでよい日時間だった。(4/24)